



きすげ

令和2年11月18日

11月号

府中市立浅間中学校
校長 山本 周一

☎ 042-360-0031 FAX 042-334-0945 www.fuchu11c.fuchu-tokyo.ed.jp/

【地域に支えられていることに感謝】

校長 山本 周一

毎朝東府中駅から学校まで歩いてくると、歩道の落ち葉を掃いてくれている方がいます。「いつもありがとうございます。校長の山本と申します。ご挨拶が遅くなり申し訳ございませんでした。」と声をかけました。その方は「新しい校長先生か、生徒が落ち着いた様子でいいね。私の娘も浅中を卒業したんです。こうして学校の周りをきれいにし、浅中を応援しているんですよ。」とだけいただきました。

公立の小中学校は地域にあって様々な歴史を積み重ねてきています。その姿を継続的に見守ってきていただいているのも多くの地域の方々です。人それぞれ考えることは違うと思いますが、見守っていただけるということは関心がある、期待されているということです。その期待に応えられる学校を共に作っていきたく思います。

それでは地域からの期待に応えるためにはどのようなことが必要でしょうか。地域行事やボランティアとして参加することや浅間中の活動を広く知ってもらうことなど、方法は様々あると思います。しかし、そのように見て分かりやすい活動とは別に一人一人の自覚や心かげによってできることもあります。それは「生徒の皆さんは、これからの地域を担う人材だということです。」生徒の皆さんは、将来の地域を担う人として地域から期待されています。知力や体力、道徳心などをしっかりと身に付けた大人へと成長することが大切です。

三年生の面接練習の時、何人かの生徒に、「新型コロナウイルス感染症の関係で学校が3カ月間休校になったとき、どんなことを学びましたか。」という質問をしました。苦手な教科の勉強に計画的に取り組んだという人もいました。また、できるだけ外に出ないようにすることで他の人への思いやりということも学んだという人もいました。学校に通ったり、友達と会ったりすることが、普段どおりにはできなくなって、当たり前前の日常のありがたさを学んだという人もいました。

今生徒の皆さんは地域に支えられることの方が多いかもしれませんが、それは当たり前前のことではありません。支えていただいていることに感謝し、次は地域に対して自分ができることはないかを考えてみましょう。

浅間中スクール・コミュニティ協議会 11月13日(金)



浅間中には、学校教育を地域と協働で実施し、地域とともに歩む学校づくり、地域を支える人材育成を目標に「浅間中スクール・コミュニティ協議会」を設置しています。協議会委員の皆さんは、職



場体験でお世話になっている事業所の経営者他、まさにこの地域を支えているの方々です。浅間中卒業の方も多く、浅間中を愛する浅中応援団です。今回は、コロナ禍での浅間中の教育活動や体操着・標準服の見直しなどについて協議をしました。元気な生徒の様子をほほえましく見守ってくださっていました。

【浅間中を写真で参観】

小・中連携 朝の挨拶運動 ⇨
10月21日（水）・27日（火）



⇨ 1年生「ふるさと学習 府中囃子について学ぶ」
10月28日（水）5時間目

1年生校外学習 ⇨
11月6日（金）
昭和記念公園



⇨ 2年生横浜校外学習事前学習発表会 10月23日（金）6時間目

2年生「未来の東京」戦略ビジョン
11月7日（土）5・6時間目 ⇨
※20年後の東京の街を考える



3年生生徒対象 ⇨
「第2回進路説明会」
10月20日（火）6時間目



3年生面接練習 ⇨

学校からの連絡

学校行事は、工夫をしながら動き始めました。しかし残念なことに、全国的にコロナの感染者が増加傾向にあります。睡眠時間等の生活習慣を整えて免疫力を低下させないことやマスクの着用・手洗いを徹底して感染予防対策を図っていきましょう。特に3年生は、インフルエンザの予防接種も必要だと思います。それでも発熱等がみられたときは、無理に登校をさせず医療機関に相談をして下さい。よろしくお願いいたします。